我が国の代表的研究者及び有識者の政府研究開発投資に対する認識

○ 我が国の研究者・有識者は、「現在の政府研究開発投資は不十分である」と考える傾向が一層強まっている。

問	問内容	指数												評価を変更した回答者分布（第2回と第3回の比較）				
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		指数変化	−(A)	0(B)	+(C)	(A+C)/(A+B+C)	(C−A)/(A+B+C)
問01	科学技術に関する政府予算は、日本が現在おかれている科学技術の全ての状況を鑑みて充分と思いますか。	不充分							4.0(251) 3.8(234) 3.5(238)					充分	−0.46	16	157	8	0.13	−0.04

注1: 指数計算には、それぞれの調査において実感有りとした回答者の回答を用いた。上から2006年度、2007年度、2008年度調査の結果である。

注2: A、B、Cの集計は、2007年度調査、2008年度調査とも実感有りとした回答者に対して行なった。

補足:アンケート対象者については、各種審議会・分科会メンバー、第1期、第2期科学技術基本計画文部科学省ヒアリングの対象者、主要な国私立大学長、主要な公的研究機関長、科研費データベース中2005年新規採択者ランダム抽出、日本学術振興会賞受賞者、ERATOプロジェクト総括責任者、文部科学大臣表彰者、猿橋賞受賞者、（社）日本経済団体連合会からの推薦等を踏まえ、対象者リストを作成、アンケートを実施

出典：科学技術政策研究所「科学技術の状況に係る総合的意識調査（定点調査2008）」

政府研究開発投資の在り方に関する提言

○ 政府研究開発投資の充実・総額目標の設定に前向きな提言が行われている。

総合科学技術会議 第3期科学技術基本計画のフォローアップにおける提言

○ 現下の世界的諸課題を解決するためのイノベーションの重要性や、世界各国が科学技術政策及びイノベーション政策を一体的に強化している現状などを踏まえ、**今後とも政府研究開発投資を充実することが必要**である。

出典：総合科学技術会議（平成21年6月19日）資料より

（社）日本経済団体連合会からの提言

○ 総額目標を提示した意義は大きい。第3期で掲げた総額目標の再提示の可能性を含め、**引き続き目標を掲げる方向で検討を進め、政治のコミットの下で決定すべき。**その際、科学技術振興費、運営費交付金、特別会計等における予算制約も併せて議論されるべきである。ただし、目標を引き続き掲げる前提として、**目標の実現状況に対する国民への説明責任の履行と、戦略的重点化や研究開発マネジメント等を通じた研究開発の質の向上に向けた取組みが必要**である。

出典：第6回 科学技術・学術審議会基本計画特別委員会資料（平成21年10月1日）より

産業競争力懇談会（COCN）からの提言

○ **研究開発投資総額を対GDP比1%とする、第3期科学技術基本計画の当初目標を堅持する**と共に、基礎から実用化に至る様々な研究開発フェーズに適した資金配分のあり方、府省横断的な課題解決型研究開発への柔軟な対応などに関する議論を深め、基礎から実用化までの切れ目のない資金支援を担保する、効率的なファンディングシステムを設計し、また、全体を俯瞰し、統括する機能を構築していくことが必要である。

○ 各国が科学技術投資を伸ばす中、**基本計画のGDP比1%、25兆円の目標の大幅未達は科学技術創造立国の足元をゆるがす。**

出典：第6回 科学技術・学術審議会基本計画特別委員会資料（平成21年10月1日）及び基礎研究についての産業界の期待と責務より

経済産業省産業構造審議会からの提言

○ 今般の経済危機によって民間による研究開発投資の冷え込みが懸念される中、第三期科学技術基本計画の目標とした**政府研究開発投資のGDP比1%目標を堅持すべきである。**

出典：経済産業省産業構造審議会産業技術分科会基本問題小委員会中間報告より